

< Vol.21 の記事 >

ユース、ジュニアユースとも3年生最後の大会を終える 選手、生涯(けやき)ともにリーグ戦全日程を終える。

【ジュニアユース】

9月29日(日)連日の雨空により試合会場の確保が心配されましたが、県立浦和高校グラウンドにて無事、3年生最後の公式戦となる埼玉県クラブユース選手権の初戦をむかえました。本大会はノックアウト方式のトーナメント大会です。

朝から生涯会員とコーチ陣がグラウンドで水をスポンジで吸い取り、予想外の好天も手伝い、試合開始時には水溜りも全くなりまらずのコンディションとなりました(最後の大会がひどいグラウンドでなくて良かったです)。

試合は全体的に押し気味に進めながらも0-0のスコアレスドローでタイムアップを向かえ、引き続き行われたPK戦で惜しくも3-4で狭山エスペランサに負けてしまいました。

3年生3人は、最後まで下級生をひっぱりながら、頑張りを見せ、何度も惜しいシーンを演出していました。

この試合を最後に、3年生は公式戦から引退しますが、一昨年の3年生がそうであったように、この後の半年(中学卒業まで)も、身体能力も技術もまだまだ伸び盛りの時期だけに、受験勉強の合間をみて気分転換も含めて体を動かしかけてくれるといいと思います。

残された1~2年生がこの後も頑張っていってくれると思いますが、たまに覗いてやって、励ましてください(逆に 励まされたりしてな^^)。

【ユースリーグ】

少し前の話題になってしまいますが、ユースも3年生最後の関東ユースリーグ戦を、8月31日に最終戦を終え、2勝3敗の成績を収めました。

敗戦は、いずれもアウェー遠征で相模原、湘南(藤沢) 駒沢に行った時のものです。

勝利は、駒場サブ、浦和高校と、日頃から練習に慣れ親しんだグラウンドであり、慣れない電車移動、使い勝手の分からないグラウンドでの試合など、Jリーグに限らず、HAの問題は大きな影響を与えるこ

とを知らされました。

このことはJYも同様でしょう。幸い、JYは県内の移動が主ですが、グラウンドの常時確保ができればこれほど心強いことはないはずで

ユースの星取り表を見てみると、必ずしも負けが込んでいるところに勝ったのでもなく、浦スポが大敗したチームに勝っていたチームに勝ったり、その反対もあるなど、メンタルやコンディショニングの影響が大きいことを、毎年のことですが、考えさせられます。

今年の3年生のチームは、人数が直前までそろわないで、ボロボロの冗談でも笑えないような試合も見せてくれましたが、その一方で、春のアルディージャユース戦の引き分け(0-0)この夏の2勝と、良い思い出となる試合をしてくれました。

何人かは選手コースでの活動を希望して、すでに合流し、市民リーグや市民大会への参加を照準に練習に励んでいます。

昨年に引き続き、今年もユース 選手という流れが出てきたことは、クラブとしてとても喜ばしいことです。

【選手】

選手も、9月24日に市民リーグの全日程を終えました。

この春、天皇杯予選となる社会人大会で県南3位となり、本年度の市民リーグでの躍進、県リーグへの昇格も期待されたところですが、シーズン序盤の接戦(点の取り合いが多かった3-5、3-4など)を逃し続けたことから、その後の試合でも歯車がかみ合わないまま1勝2分4敗で勝ち点5という戦績に終わりました。

暫定順位は6位で他チームの最終戦の結果いかににより1部降格の危機に立たされています。

一方、県リーグ昇格を争うブロックリーグでは、

2部チーム相手に確実に勝ち点を稼ぎ、3勝2分2敗のブロック3位と健闘しました。

ユース3年からの新戦力を迎え、10月末から始まる市民大会での発奮を期待したいと思います。

【生涯（けやき）】

生涯コース40歳前（一部例外あり）がチーム名：USC彩で臨んでいるけやきリーグも全日程を終りました。4勝1分2敗の勝ち点13でリーグ5位となりました（12チームですが、7戦という変則リーグです）。

負け試合はいずれも1点差（0 - 1、2 - 3）で、最終戦にはリーグ2位（勝ち点18で1位と同勝ち点）のGARAPAGOに1 - 0で勝利を納めるなど、あと少しでリーグ1位も夢ではない状況だったようです。

今年度は、選手チームからの移籍組が数名加わり、戦力が充実したことも、好結果を招いた一因と考えられます。

しかし、その一方で、チーム内の技量の格差や出場機会の減少なども確実に生じており、さらにチームを分割する必要性を指摘する意見も出されていることも事実です。

今後、ユース卒業生の選手コースや生涯コースへの移籍などが続くことを考えると、早期にその受け皿となるチームをクラブとして整備していくことも必要だと認識しています。

生涯チームを現在のけやきとシニアだけではなく、選手とけやきの中間チームをつくることも考えていきたいと思いますが、そのためには、参加されるクラブ員のよりいっそうの運営への協力が必要です。

審判資格の取得、会場当番や審判当番の分担、協会の会議への参加なども、時間の許す限り皆で分担していくことで、よりよい活動を展開できると思います。

【生涯（シニア）】

大宮シニアリーグに参加しているFC彩は、台風冠水延期試合を含めて3試合を残しており、まだ振り替えの日程が決まっていません。

【グラウンド使用上の注意！】

活動場所の安定的な確保のために、市内の県立高校の学校開放などを利用させていただき手続きを鋭意進めてきました。

その結果、この夏より与野高校、さらに10月からは大宮高校もお借りできることとなりました。

学校施設は、地域の財産であり、どんどん使用して投資効果を高めるべきだと思いますが、一方で、

学校部活動への配慮などは、けっして欠かすことができません。

以前からお借りしている北浦和小学校、浦和高校なども同様ですが、**グラウンドの整備やゴミの後片付けなどは、コーチや一部の会員に依存することなく、全員が実行してください。**グラウンドの利用ルールが守れなければ、借りる資格を失うことになります。グラウンドが使えなくなることは、サッカーができなくなることを意味していることを肝に銘じてください。

【ボール・ピス・クラブカーなど用具を大切に】

8月から9月にかけてピス、ボールを補充しましたが、**一月とたたないうちに、かなりの数（ボール、ピスとも）が無くなっています。**

汗臭いピスを着るのは嫌でしょうから、洗濯をこまめにしていますが、ピスの数が著しく減少しており、洗濯が間に合いません。週末にグラウンドにいくと、ピスの袋やピスそのものが泥にまみれて落ちていることもあり、悲しい気持ちになります。

また、ボールについては、学校や他のクラブと区別をつけやすいように、この2年間は通常の白黒ボール（ペレーダ）は購入していませんが、ボールケースには相変わらず、ペレーダがたくさん入っており（しかも高校のネーム入りまで！）ニューボールは無くなり続けています（新規購入のボールは全て浦和SCのネームまで入れています）。

ボールがなければサッカーはできません。ピスがなければミニゲームもできません。道具を大切にできない者はプレーする資格がないとも言えるのではないのでしょうか。

浦スポの道具は、誰かがお金を出して買ってくれるのではなく、全て、会員の皆さん（保護者の方が出されていることも含めて）の会費で購入しているのです。活動の活発化により消耗することは、喜ぶべきことですが、現在の状態は、単にだらしが無いから、サッカーができることのありがたさがわかっていないから起きているような気がしてなりません。

けちくさいことを言うようですが、良い状態になるまで何度でも繰り返していくことにします。

グラウンドや道具を大切に扱うことが、会費の低減と仲間の増加につながるのだと思います。

浦和SCニュースは、クラブ内の情報交換を図ることを目指して発行しています。

外部へのPRにもどんどん利用してください。必要があれば部数をお送りします。事務局までご連絡ください。

発行は不定期になることをご了承ください。